

2023年4月3日

関係者各位

LINE Fukuoka 株式会社

平素より「LINE SMART CITY GovTech プログラム」(以下、GovTech プログラムと記載)をご利用いただき、誠にありがとうございます。

「GovTech プログラム」は、弊社にて、福岡市 LINE 公式アカウントで培ったナレッジをより多くの自治体でご活用いただけるように、オープンソースの仕組みで GitHub 上にて開発・保守を行ってまいりました。

この度、昨年ソースコードを公開した「決済」の機能を最後に、福岡市で実装されている、すべての機能の開発を終えたことから、2023年6月30日(金)をもちまして、弊社でのサービス開発を完了し、システム保守を終え、2023年度中に GitHub 上でのソースコードの公開終了をすることとなりました。

※既に「GovTech プログラム」で実装されている各自治体のソースコードは、引き続き利用が可能です。サービス保守・追加開発などは、ご契約のベンダーへお伺いください。

※同様のサービス導入を検討されている自治体におかれましては、transcosmos online communications 株式会社が提供するクラウドサービス「KANAMETO」のご利用をご紹介します。KANAMETO は、現在 150 以上の自治体さまがご利用中のクラウドサービスです。<https://kanameto.me>

サービス開発・保守完了までのスケジュールにつきましては、下記内容をご確認いただきますようお願い申し上げます。

GovTech プログラム 今後のスケジュール

新規 issue 問い合わせ停止日	:2023年4月27日(木)
GovTech プログラム利用申込停止日	:2023年4月27日(木)
サービス開発・保守終了日	:2023年6月30日(金)
GitHub 上でのソースコードの公開終了	:2024年3月27日(水)

お問い合わせ窓口 dl_govtech_program@linecorp.com

【2023年5月17日 追記】

GovTech プログラムは、利用規約（*）に明示されているとおり、無保証のサービスであり、また、ユーザー様が GovTech プログラムを利用したことで損害を被った場合でも、原則として当社は責任を負いたしません。

改めてご留意くださいますようお願い申し上げます。

* GovTech プログラム 利用規約（抜粋）

https://linefukuoka.co.jp/ja/project/smartcityproject/govtech/termsofservice/govtechprogram_terms.pdf

第4条（無保証）

1. 当社は、本ソフトウェアに関する瑕疵（セキュリティなどに関する欠陥、エラーやバグ、権利侵害を含みます。）がないこと、並びに安全性、正確性、完全性、有効性及び特定の目的への適合性を、明示的にも黙示的にも保証しません。当社は、利用者に対して、かかる瑕疵を除去して本ソフトウェアを提供する義務を負いません。
2. 利用者は、自らの責任において、本ソフトウェアを複製等し、本規約に基づいて付与される権利を行使しなければなりません。

第7条（免責）

1. 利用者が、本ソフトウェアの複製等並びにこれらに関連・付随して損害（通常損害・特別損害、直接損害・間接損害、及び逸失利益を含むがこれに限りません。）を被ったとしても、当社は、当社の故意又は重過失に起因する場合を除き、利用者に対し、一切責任を負わないものとします。但し、利用者当社との間の本規約に基づく契約が消費者契約法に定める消費者契約（以下「消費者契約」といいます。）に該当する場合、当社は、当社の過失（重過失を除きます。）による債務不履行責任または不法行為責任については、逸失利益その他の特別の事情によって生じた損害を賠償する責任を負わず、直接かつ通常生ずべき損害の範囲内で損害賠償責任を負うものとします。
2. 本ソフトウェアの複製等に関し、当社の故意又は重過失に起因して、利用者に損害が生じた場合、当社は、逸失利益その他の特別の事情によって生じた損害を賠償する責任を負わず、直接かつ通常生ずべき損害の範囲内で損害賠償責任を負うものとします。